

伝統工芸の地域資源としての活用に関する
実態調査

結果報告書

令和4年6月

総務省行政評価局

前書き

伝統工芸については、これまでも国や伝統工芸の産地を抱える地方公共団体等により様々な支援策が講じられてきた。

近年では、政府は累次の「まち・ひと・しごと創生」に係る閣議決定において、伝統工芸を地域資源として活用し、国内外の需要を取り込む方針を掲げている。

こうした方針の下、訪日外国人客の増加や、体験型ツアー需要の高まりなどを背景に、地方公共団体等においては、伝統工芸を含めた地域資源を活用している事例もみられる。

しかしながら、生活様式や社会経済の変化、安価な類似品の流入といった背景事情により、伝統工芸品の生産額や従事者数が減少傾向にあり、伝統的な技術等の継承が困難となっている産地もある。

以上のような状況を踏まえ、この調査は、伝統工芸を取り巻く各主体（都道府県、市区町村、製造協同組合、製造事業者等）の取組やニーズについて調査し、伝統工芸の地域資源としての活用例を整理するとともに、産地の現況と課題、課題解決に向けた取組について整理・分析し、関係府省及び産地における取組の検討に際し、参考となるよう取りまとめたものである。

なお、この調査では、各種制度に基づく指定の有無にかかわらず、各産地において受け継がれてきた工芸品を「伝統工芸品」と、その製造に用いられる技術等を含めて「伝統工芸」として取り扱っている。

目次

第1	調査の目的等	1
第2	調査結果	3
1	伝統工芸の産地の現状等	3
(1)	伝統工芸の概要	3
(2)	伝統工芸の現状	3
(3)	伝統工芸をめぐる国・地方公共団体の施策の概要	4
2	伝統工芸の地域資源としての活用	6
(1)	伝統工芸を活用して地域活性化に取り組む産地の例	6
(2)	伝統工芸の維持・存続に向けた取組の必要性	17
3	伝統工芸を取り巻く課題及び当省の考察の概要	18
(1)	課題の総合的な解決の必要性	18
(2)	体制的な支援の必要性	20
4	伝統工芸を取り巻く現況と課題（課題の総合的な解決）	21
(1)	各課題の総合的な解決	21
(2)	需要の拡大に向けた取組	25
(3)	後継者の確保に向けた取組	39
(4)	原材料・用具等の確保に向けた取組	54
5	伝統工芸を取り巻く現況と課題（課題解決に向けた体制支援）	72
(1)	取組の実施体制に対する支援	72
(2)	地方公共団体の関与	79
第3	参考事例の紹介	93
1	本項目（参考事例の紹介）について	93
(1)	需要の拡大	93
(2)	後継者の確保	96
(3)	原材料・用具等の確保	97
第4	参考	99

